

# 在宅医療・介護連携推進事業

## 在宅医療・介護資源実態調査の 比較からみる蓮田市の動向について

蓮田市地域包括ケア推進代表者会議  
令和7年度第1回 令和7年7月22日

《蓮田市 健康福祉部 長寿支援課》

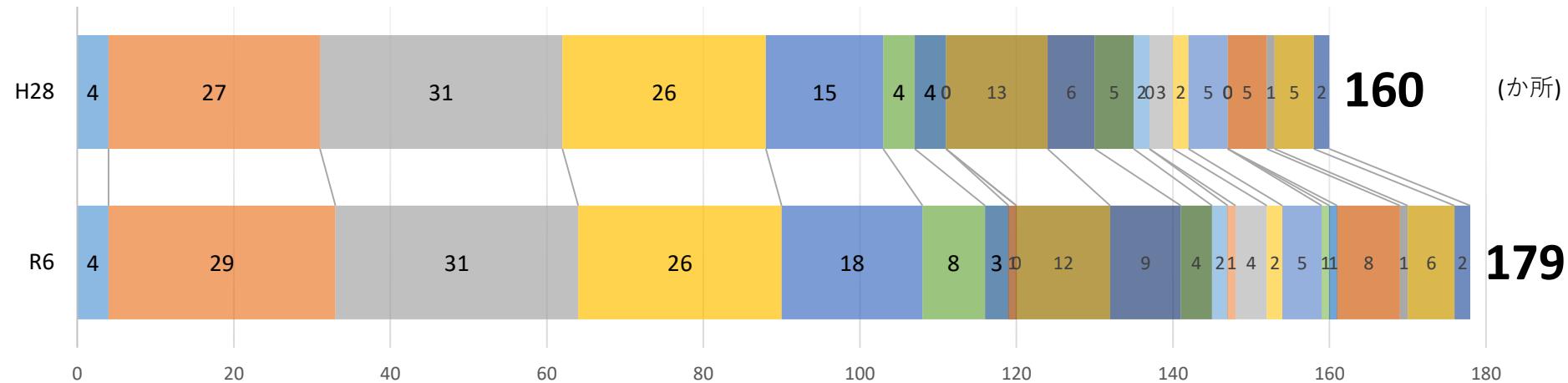
# はじめに

在宅医療・介護の連携体制の充実に向けた事業の1つとして、  
在宅医療・介護地域資源実態調査を実施し、公表している。

- ・目 的：市内の在宅医療及び介護に関する情報の収集、整理及び活用を行うことにより医療・介護の連携を推進する。
  - ・調査対象：市内の全医療・介護関係機関
- 
1. 在宅医療・介護連携ガイド
  2. 在宅医療・介護資源実態調査 結果報告

平成28年度から開始した実態調査の結果をもとに、比較からみえてきた蓮田市の動向をご報告いたします。

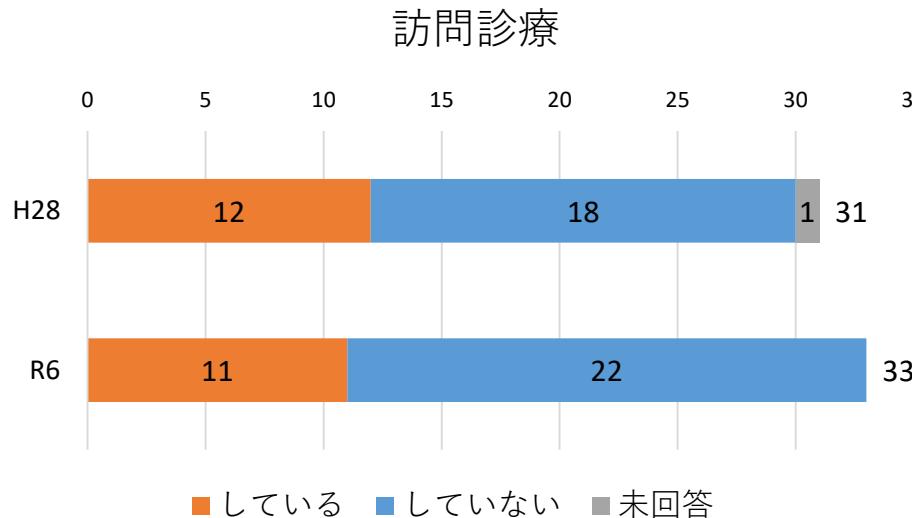
# 蓮田市の医療・介護関係機関の状況



- 病院
- 歯科医院
- 居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）
- 訪問リハビリテーション
- 訪問入浴介護
- 通所介護（デイサービス）
- 通所リハビリテーション（デイケア）
- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)
- サービス付き高齢者向け住宅
- 小規模多機能型居宅介護 <地域密着型サービス>
- 短期入所療養介護（医療型ショートステイ）

- 診療所
- 保険調剤薬局
- 訪問看護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護<地域密着型サービス>
- 訪問介護（ホームヘルプ）
- 地域密着型通所介護（デイサービス）
- 重度認知症デイケア
- 介護老人保健施設
- 住宅型有料老人ホーム
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 短期入所生活介護（ショートステイ）

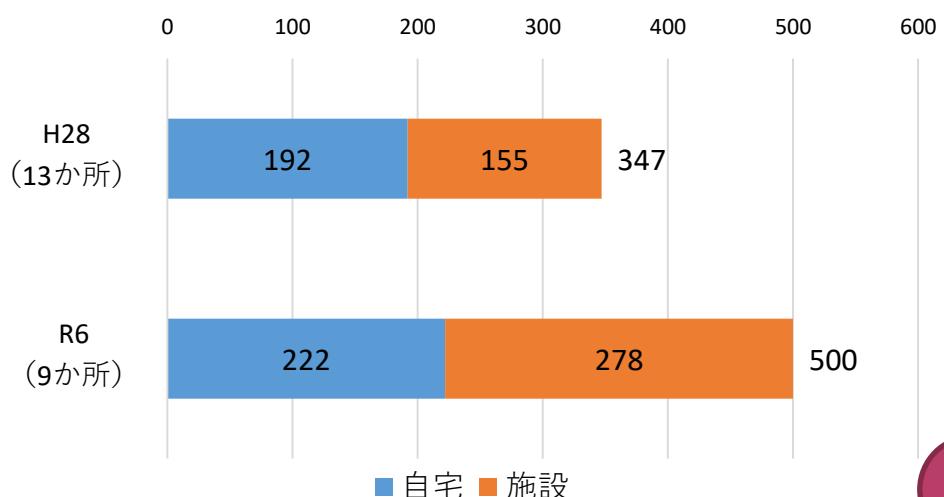
# 訪問診療実施医療機関と患者数



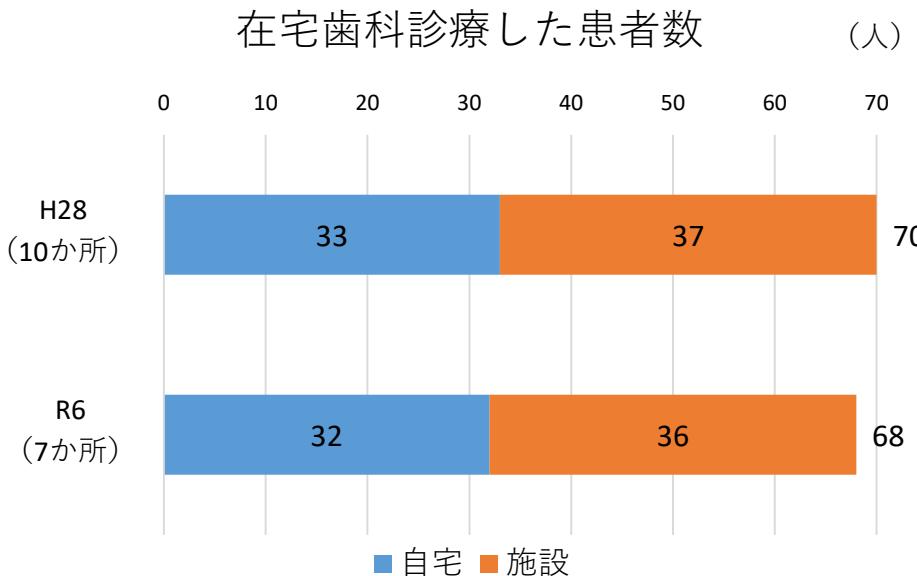
・訪問診療を実施する医療機関は、  
12か所 → 11か所 と  
減少している。

・訪問診療をする医療機関は  
減少しているが、  
訪問診療した患者数は、  
347人 → 500人に増加。

訪問診療した患者数（医療機関）(人)

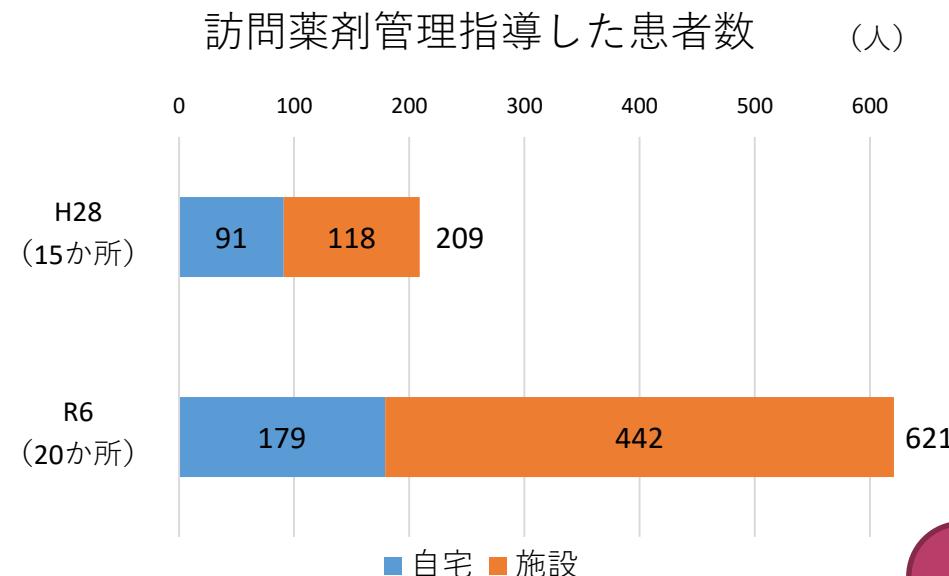


# 在宅歯科診療患者数と訪問薬剤管理指導患者数



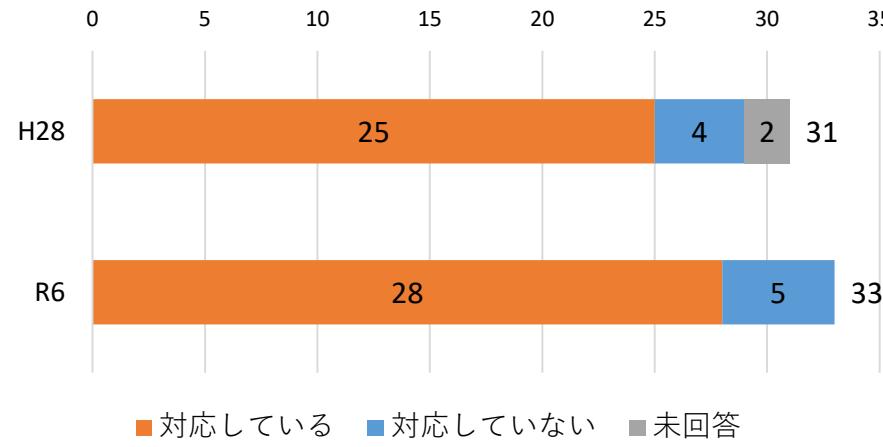
・在宅歯科診療を実施する医療機関は微減しているが、在宅歯科診療した患者数は、70人 → 68人と維持。

・訪問薬剤管理指導を実施する薬局は増加しており、訪問薬剤管理指導した患者数は、209人 → 621人と増加。

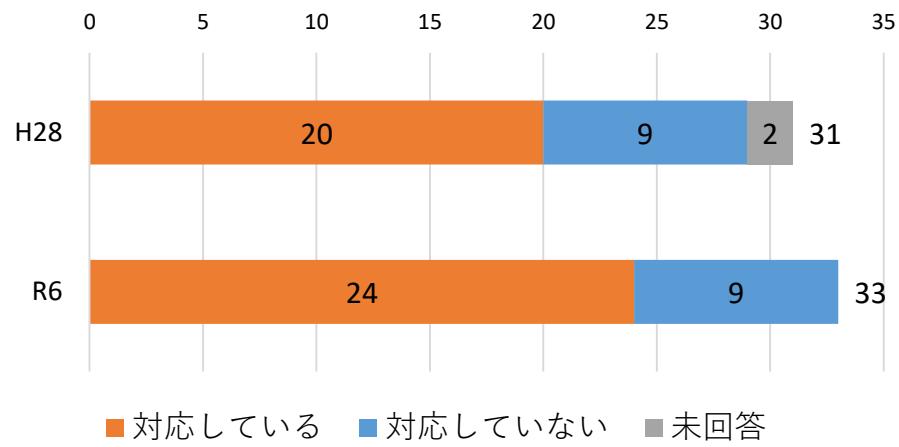


# 在宅医療の取り組み①

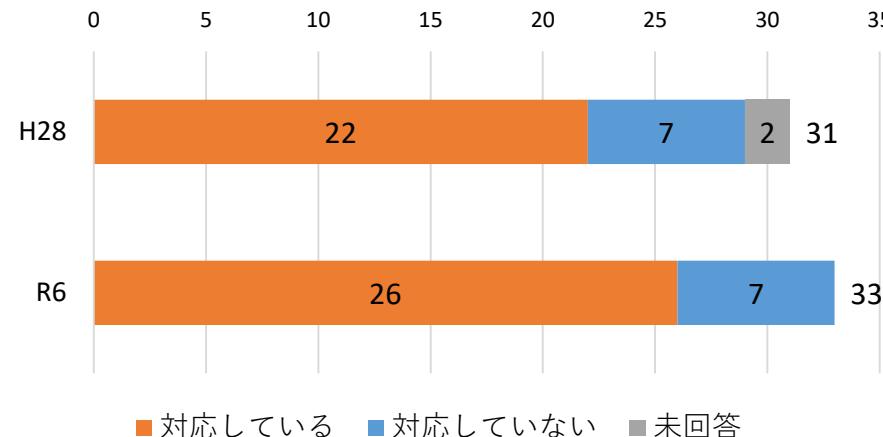
主治医意見書の記載



訪問看護指示書



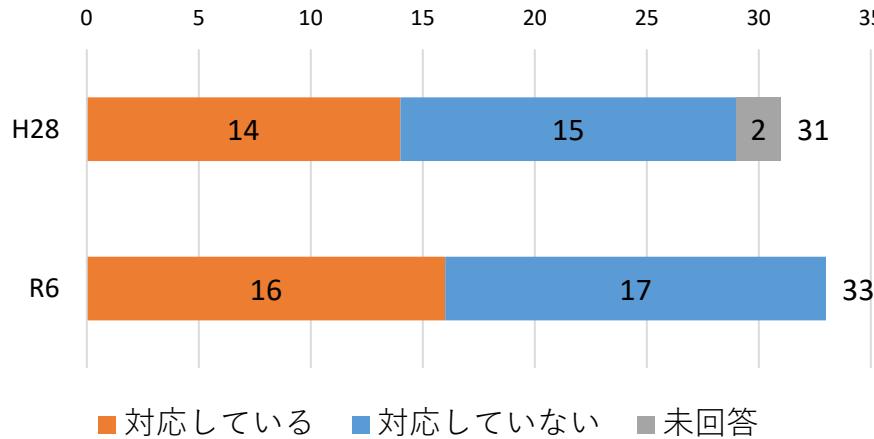
各職種への診療情報提供書



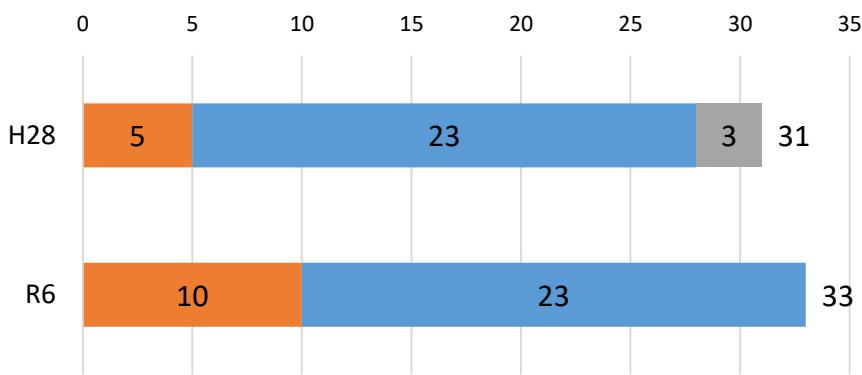
・介護保険に関わる取り組みや、  
在宅医療で連携するための  
取り組みを実施する  
医療機関が、増加している。

# 在宅医療の取り組み②

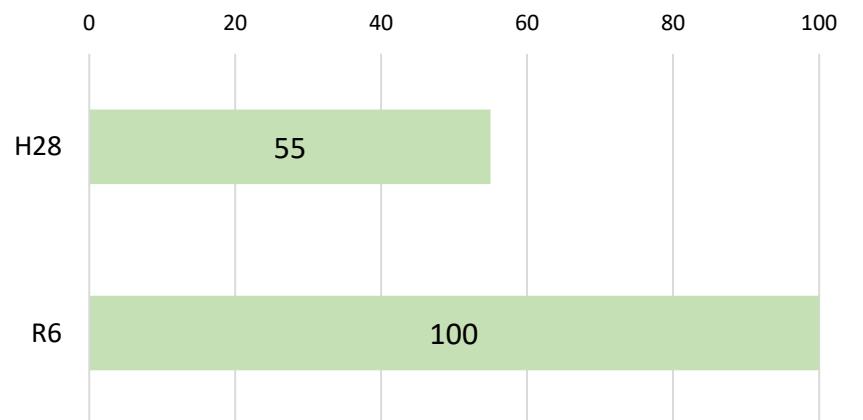
麻薬の処方



褥瘡の処置

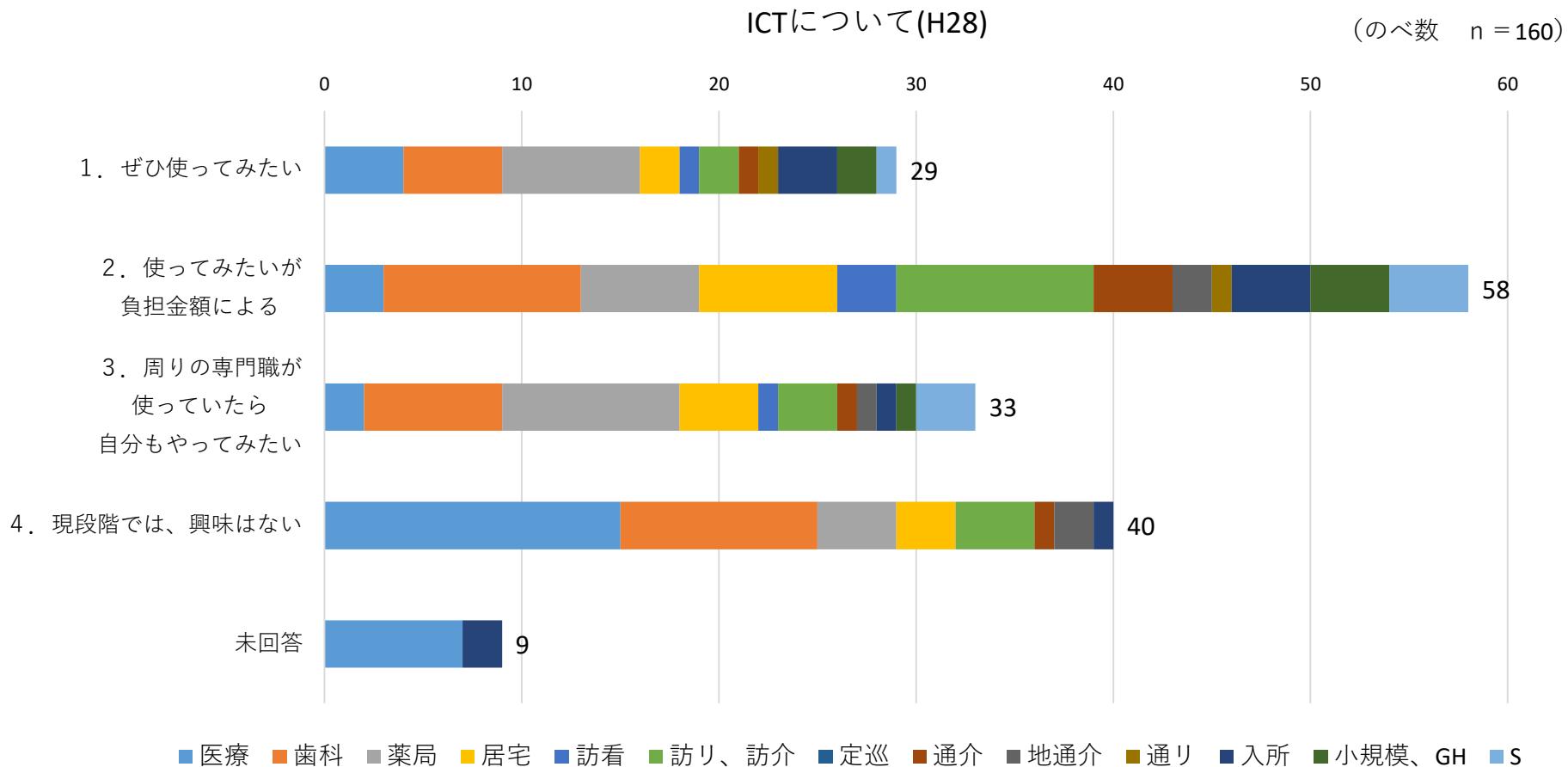


看取り (人)



- ・在宅医療にかかる取り組みを実施する医療機関は増加。
- ・看取りの件数は、55人 → 100人に増加。

# ICT・MCSの取り組み①



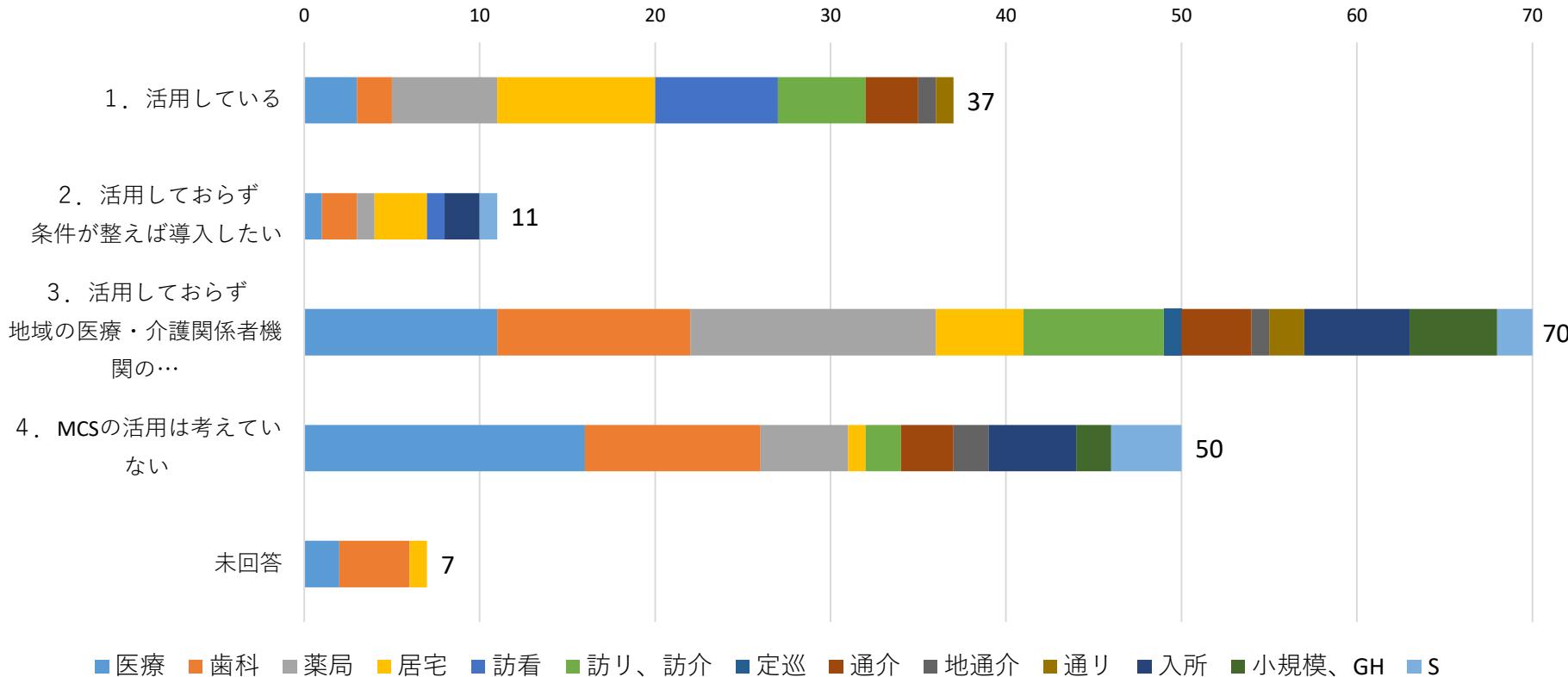
## 【MCS導入前の意向】

- ・ぜひ使ってみたい 29、現段階では興味がない 40。
- ・使うか否かの条件では、「負担金額による」 >> 「周りの専門職が使っていたら」

# ICT・MCSの取り組み②

MCSの活用状況や導入について(R6)

(n = 175)

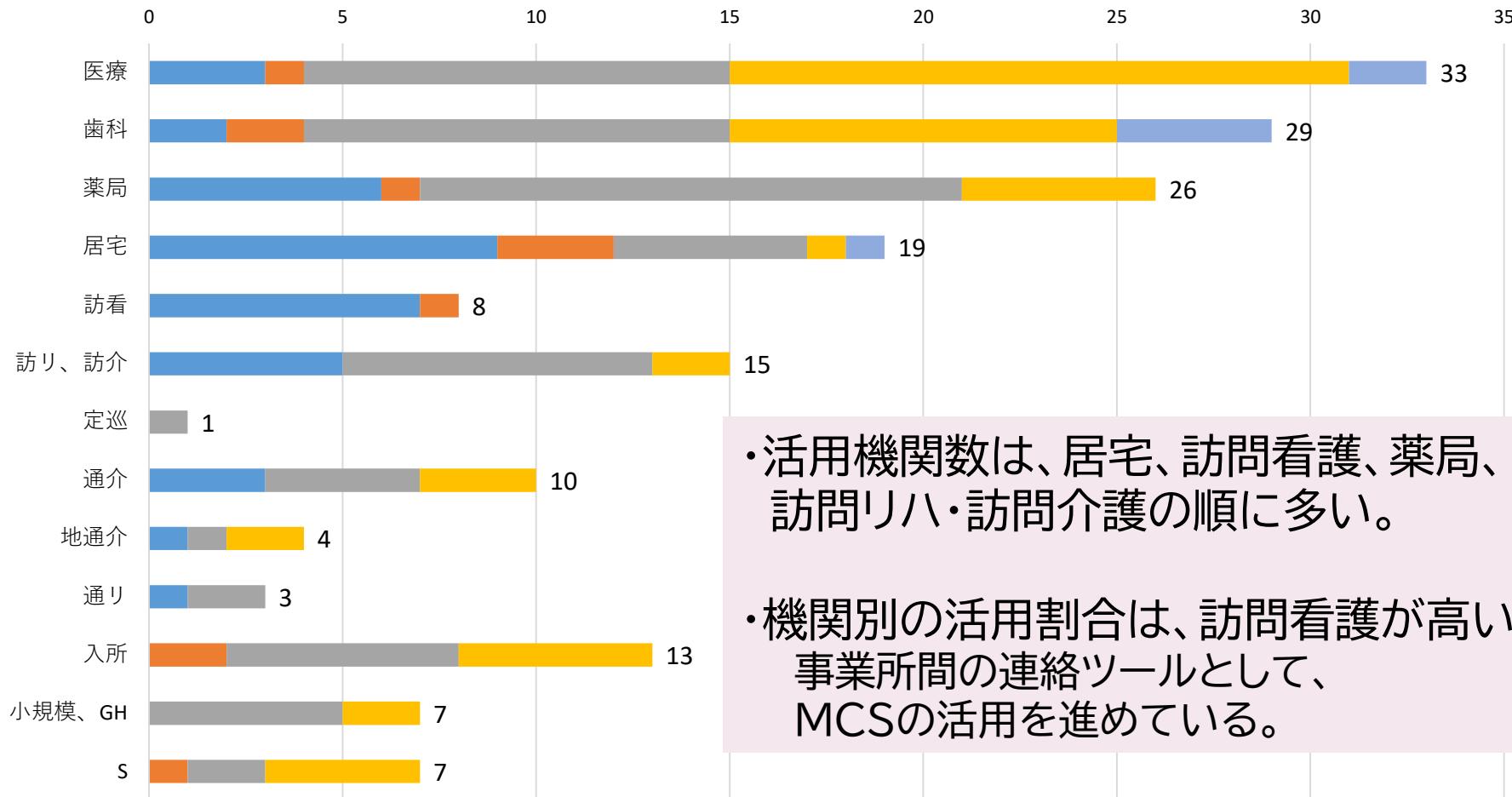


- ・【MCS導入前】ぜひ使ってみたい 29  
→ 【MCS導入後】活用している 37 意向と比べ、活用実績は、増加。
- ・活用を考えていない 40 → 50
- ・活用していないかたの意見  
「条件が整えば導入」 << 「地域の活用がすすめば検討」

# ICT・MCSの取り組み③

MCSの活用状況や導入について(R6) : 職種別

(n = 175)



・活用機関数は、居宅、訪問看護、薬局、訪問リハ・訪問介護の順に多い。

・機関別の活用割合は、訪問看護が高い。  
事業所間の連絡ツールとして、  
MCSの活用を進めている。

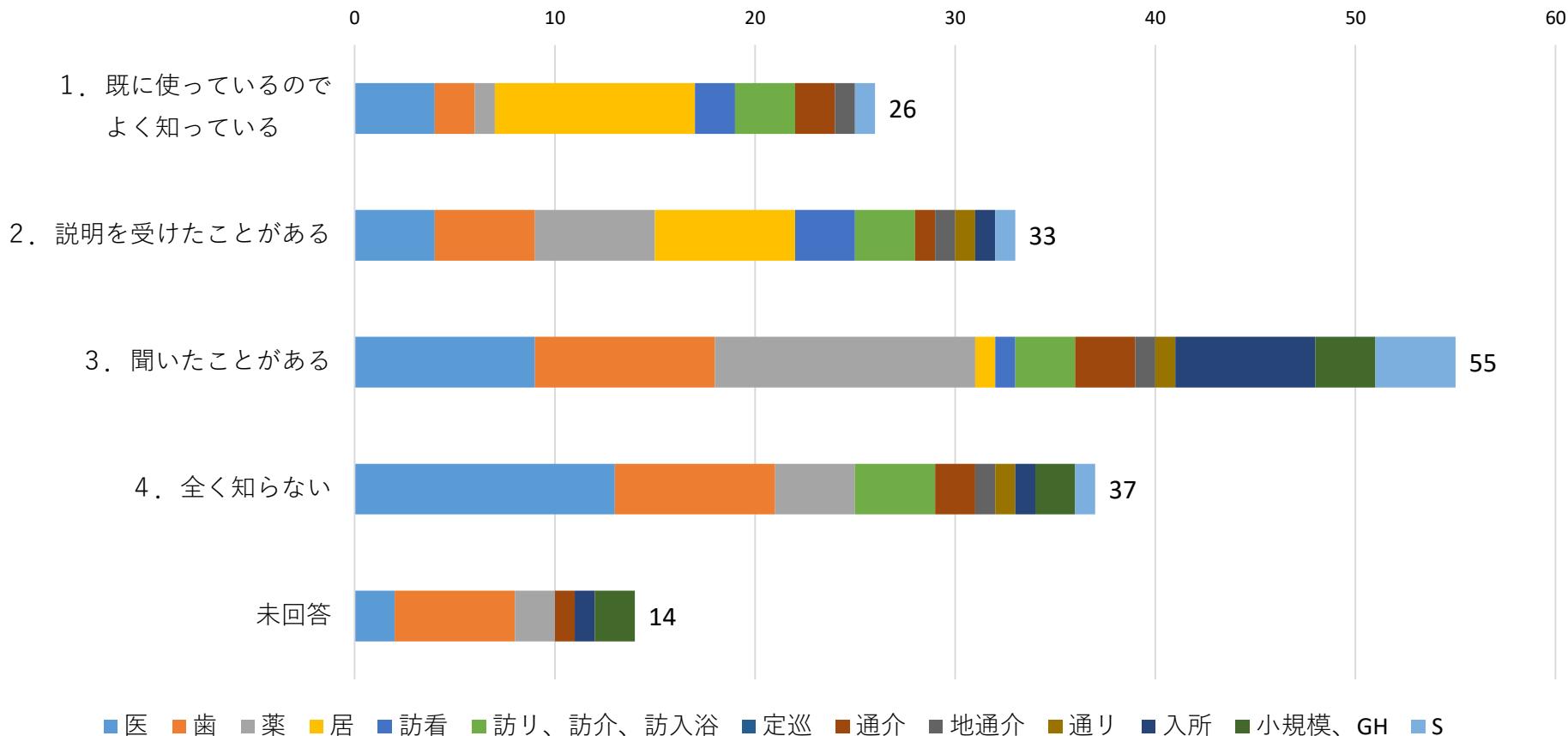
- 1. 活用している ■ 2. 活用しておらず ■ 3. 活用しておらず ■ 4. MCSの活用は考えていない ■ 未回答

条件が整えば導入したい  
地域の医療・介護関係者機関の  
利用が広がったら検討したい

# 医療と介護の事前連携及び照会シートの取り組み①

「医療と介護の事前連携及び照会シート」について(R1)

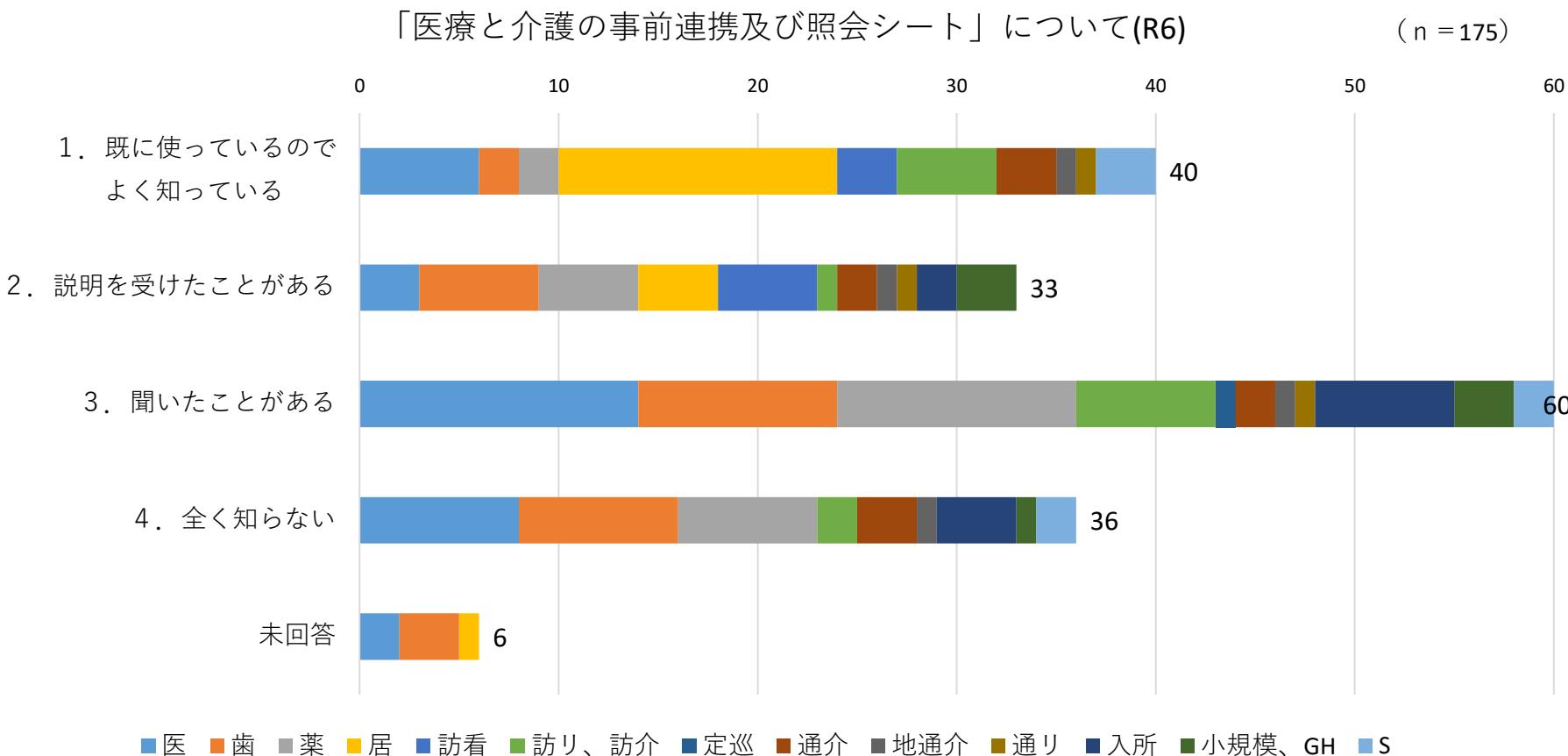
(n = 165)



## 【活用開始年度】

- ・「既に使っているのでよく知っている」は 26で、全体の約15.8%にとどまる。

# 医療と介護の事前連携及び照会シートの取り組み②

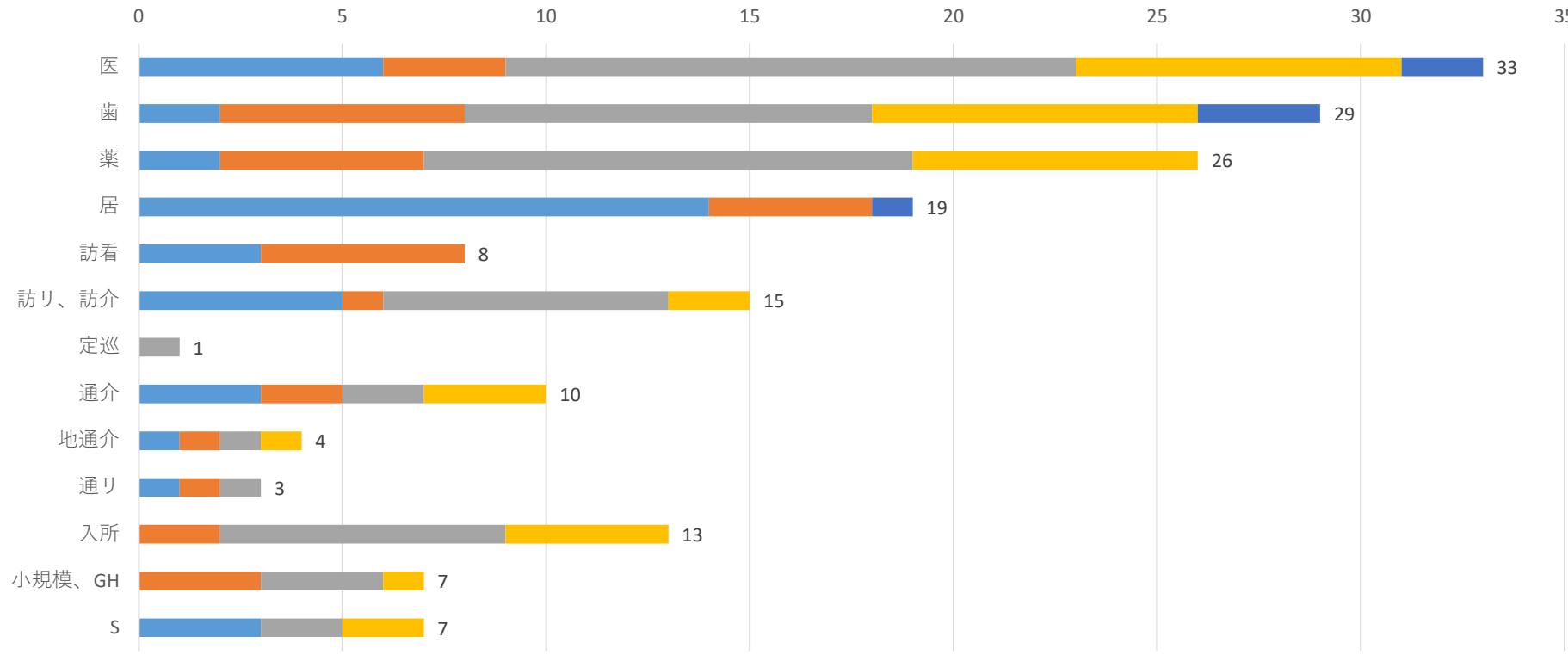


- ・「既に使っているのでよく知っている」 26 → 40(約22.9%) に増加。
- ・活用の中心となる、医療・歯科・薬局・居宅のうち、未活用の機関もあるため、定期的に活用支援をしていく必要がある。

# 医療と介護の事前連携及び照会シートの取り組み③

「医療と介護の事前連携及び照会シート」について(R6)：職種別

(か所)



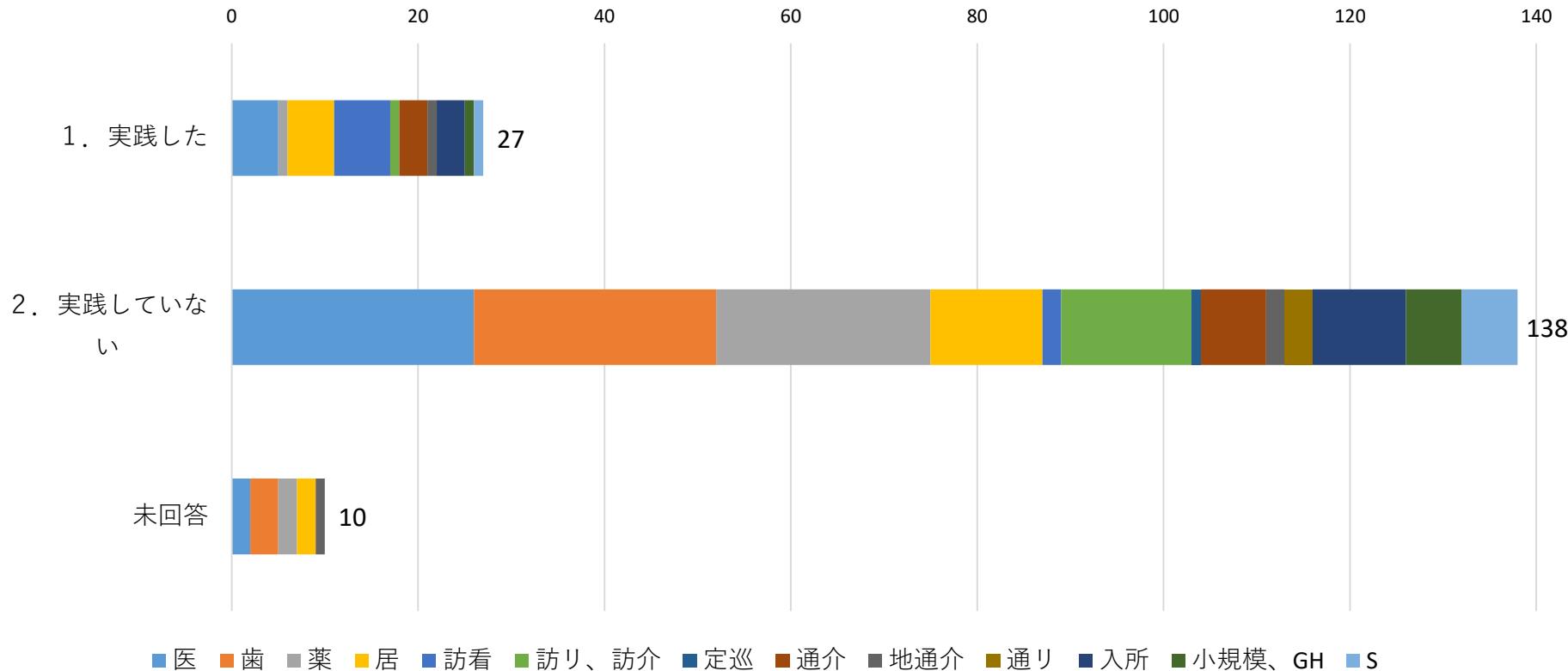
- 1. 既に使っているので… ■ 2. 説明を受けたことがある ■ 3. 聞いたことがある ■ 4. 全く知らない ■ 未回答

- ・活用機関数は、居宅、医療機関、訪問リハ・訪問介護の順に多い。
- ・居宅は、活用している事業所数が多く、  
その結果、事業所別の活用割合が高くなっている。

# ACPの取り組み①

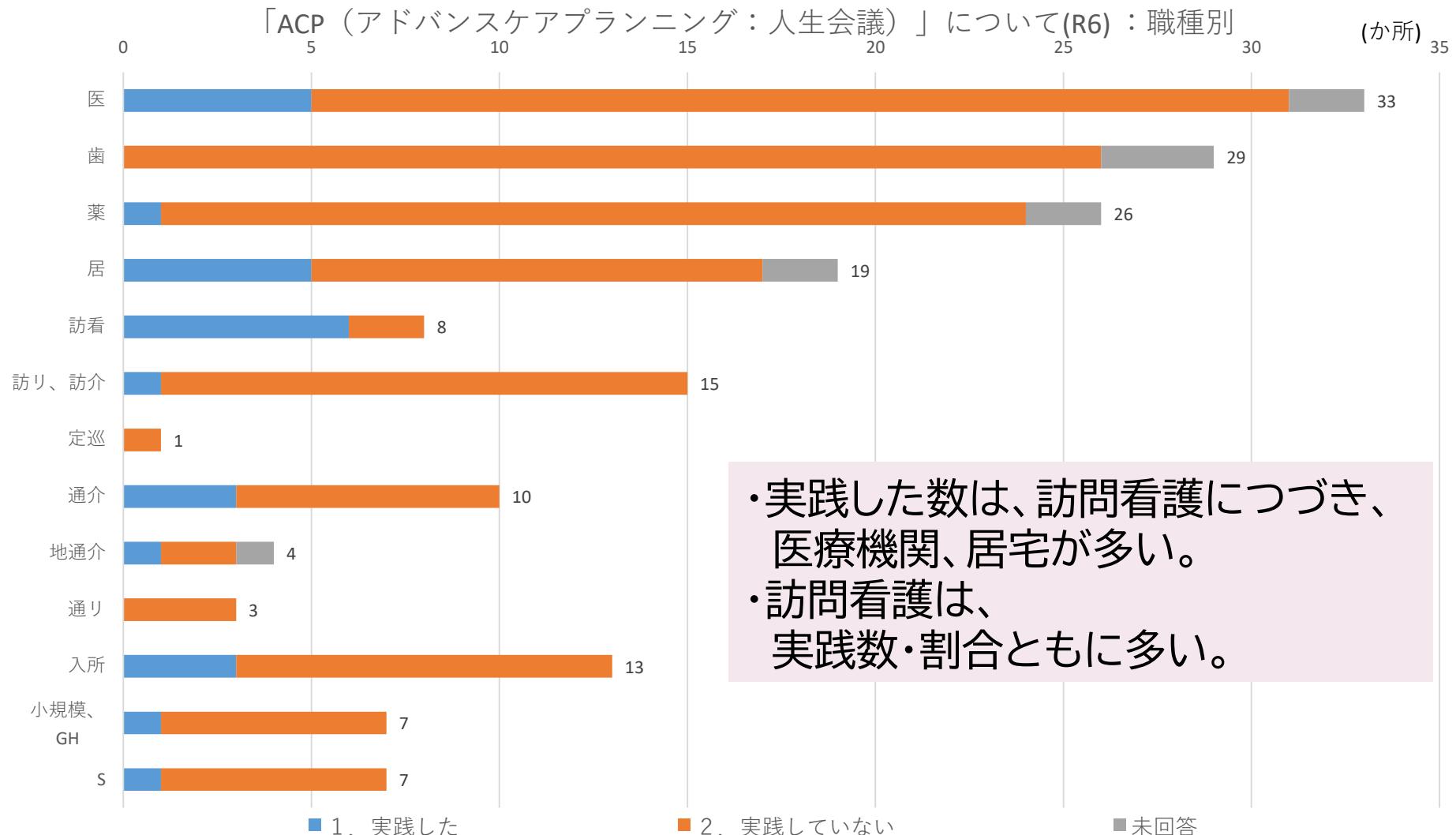
「ACP（アドバンスケアプランニング：人生会議）」について(R6)

(n = 175)

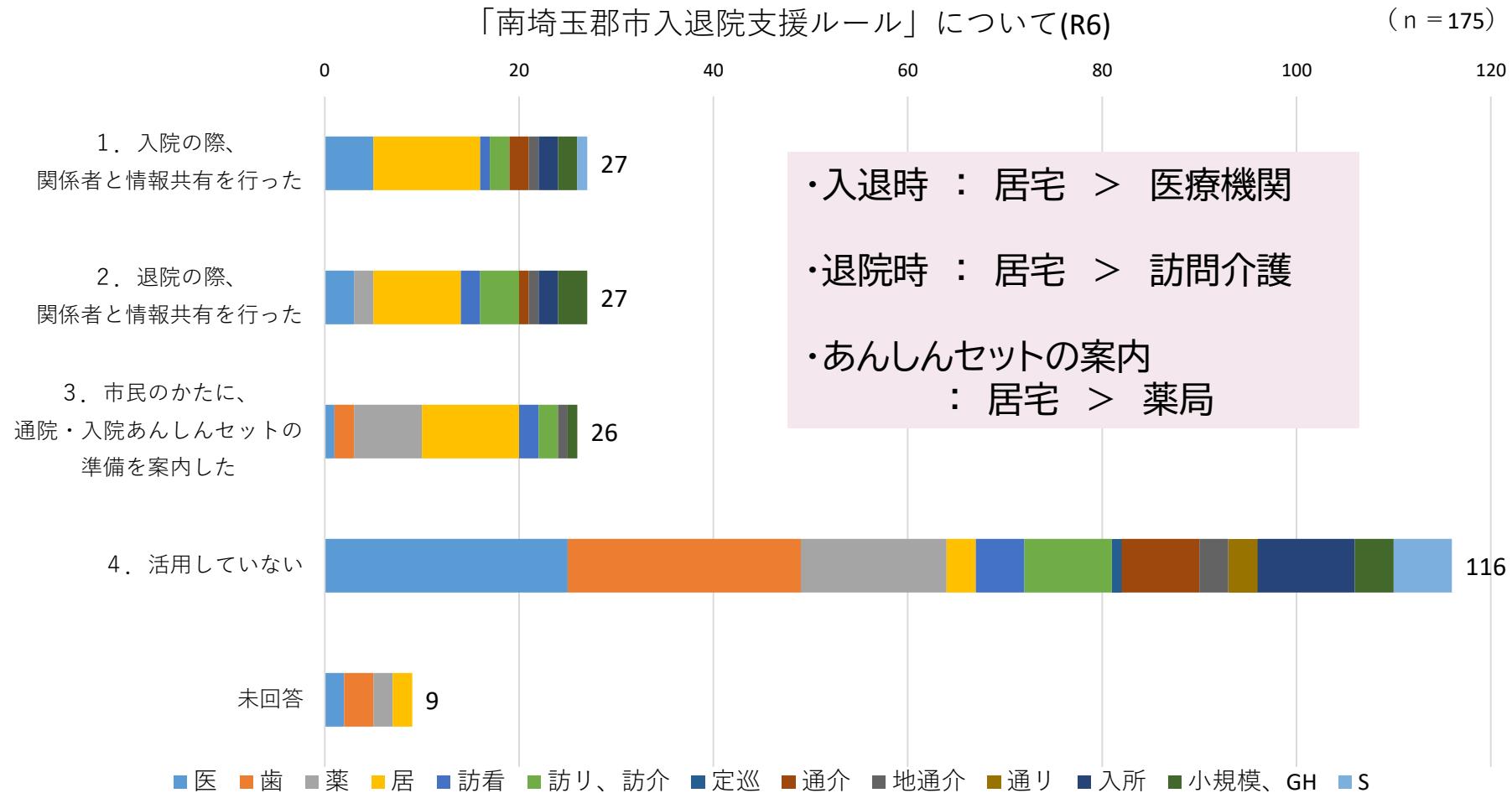


- ・「ACPを実践した」は、27か所(15.4%)。
- ・「ACPを実践していない」は、138か所(78.9%)。

# ACPの取り組み②



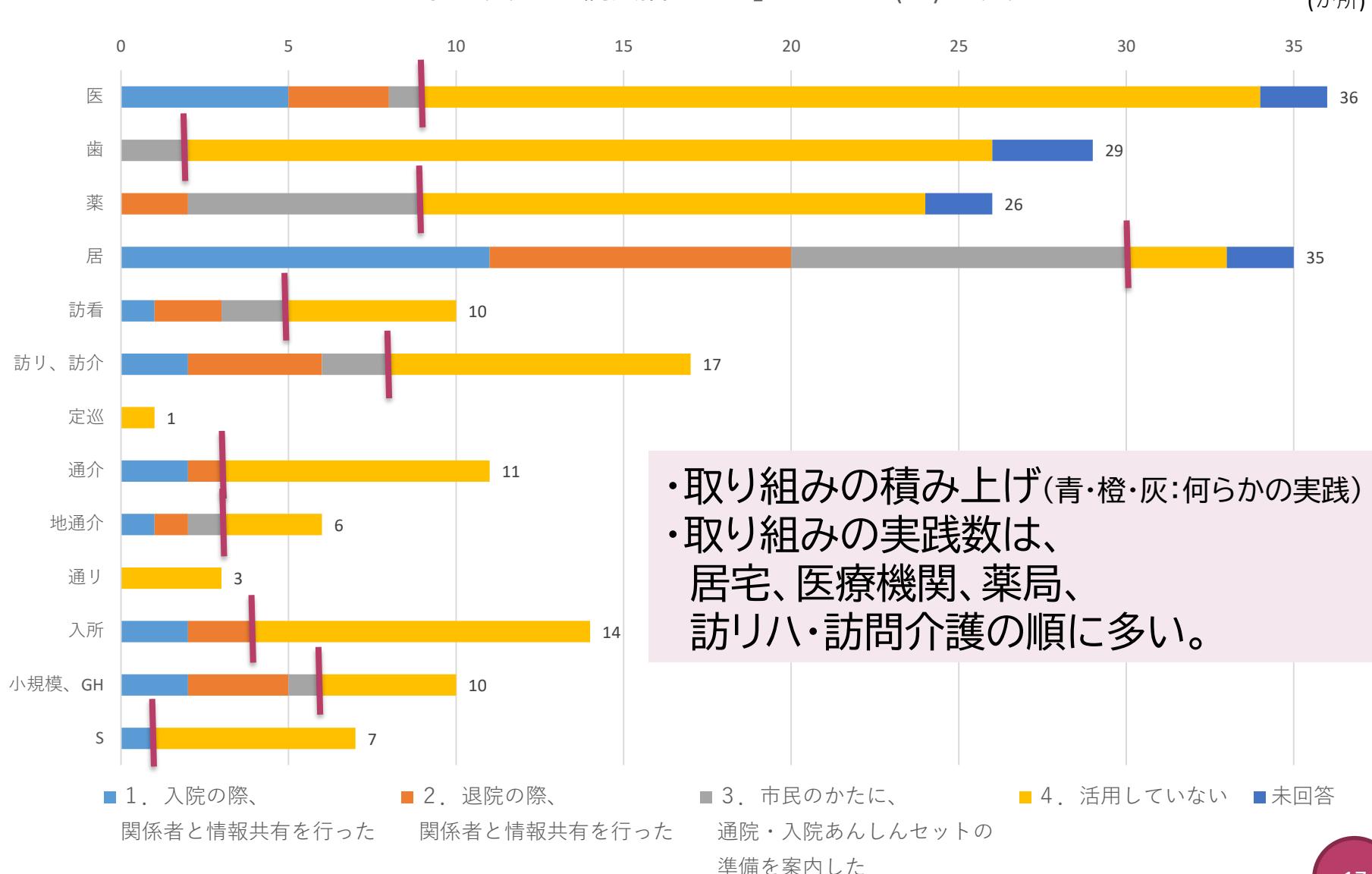
# 入退院支援の取り組み①



・入退院支援の取り組みの方法は、  
入院時の情報共有・退院時の情報共有・あんしんセットの準備案内が  
それぞれ、ほぼ同数。

# 入退院支援の取り組み②

「南埼玉郡市入退院支援ルール」について(R6)：職種別



# まとめ

## ◆今回のとりまとめで確認できたこと

- ・医療機関・事業所の数の増加
- ・訪問診療、在宅歯科診療、訪問薬剤管理指導数の維持・増加
- ・介護保険に関する、または在宅医療に関わる取り組みの増加
- ・在宅医療介護連携推進事業の広がりなど
- ・1つ1つの取り組みの周知啓発には、今回の調査比較からみえた機関別の現状も踏まえて推進する必要がある

みなさまの日々の活動の積み重ねにより、  
蓮田市の在宅医療介護の  
提供体制および取り組みの充実につながっています。